

国産初、手術支援ロボットシステム「hinotori™ サージカルロボットシステム」の 婦人科および消化器科への適応申請のおしらせ

株式会社メディカロイド（本社：兵庫県神戸市中央区、代表取締役 社長執行役員 CEO 浅野薫 以下「メディカロイド」）は、手術支援ロボットシステム「hinotori™ サージカルロボットシステム」（以下「hinotori™」）の婦人科および消化器科への適応について、10月31日付で、独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（PMDA）に申請を行いましたのでお知らせいたします。

「hinotori™」は、国産初の手術支援ロボットシステムとして2020年8月に泌尿器科領域での使用において製造販売承認をうけ、同年12月より、国内のご施設にて臨床でご使用いただいております。

今回の申請は「hinotori™」の対象診療科を、泌尿器科に加えて婦人科および消化器科領域へと適応するものであり、これにより今後より多くの患者様の治療において貢献できるものと考えております。

本件につきまして、承認取得が完了した際にはすみやかにお知らせいたします。

私たちメディカロイドは、患者様、患者様のご家族、医療従事者、そのすべての方々が、安心して暮らせる、豊かな社会へ貢献してまいります。

【hinotori™ サージカルロボットシステムについて】

一般的名称：手術用ロボット手術ユニット

販売名：hinotori™ サージカルロボットシステム（承認番号：30200BZX00256000）

HFシリーズ インストゥルメント（承認番号：30200BZX00257000）

対象市場：日本、海外（海外は、各国の許認可取得後、順次販売予定）

製造販売元：株式会社メディカロイド

手術支援ロボットシステム「hinotori™」は、オペレーションユニット、サージョンコックピット、ビジョンユニットの3ユニットで構成されます。手術を実施するオペレーションユニットのアームは、ヒトの腕に近いコンパクトな設計で、アーム同士やアームと助手の医師との干渉を低減し、より円滑な手術が可能となることが期待されます。サージョンコックピットは、執刀医の姿勢にあわせることが可能なように人間工学的な手法で設計されています。執刀医の負担を軽減し、ストレスフリーな手術をサポートします。ビジョンユニットは、サージョンコックピットに高精細な内視鏡画像を3Dで映し出すとともに、執刀医と助手の医師との円滑なコミュニケーションをサポートします。



製品の外観：

オペレーションユニット（左側） サージョンコックピット（右側）

以 上

お問い合わせ先：株式会社メディカロイド 経営企画部
[神戸] Tel：078-303-8770